

# どしゃ降りの中で資源ごみ回収



### アメニモマケズ、コロナニモマケズ

5月16日(土)、どしゃ降りの中での資源ごみ回収となりました。新型コロナウイルス関連で、すべての公民館行事が中止になる中、資源ごみ回収は屋外行事であり、三密を避けながら、行われました。

普段は軽トラに2人乗車して、回収に回っていましたが、今回は一人乗車での回収となりました。その分回収に回った人には負担となりまして、公民館に残ったスタッフも、雨の中、荷降ろし作業を総出でフォローして、全員がカバール合ってスムーズに作業できました。

今年も、例年通りの多くの集積ができ、地域の方々に感謝感謝の行事となりました。

収益は、公民館事業で有益に使わせていただき、コロナ終焉後の子供会関連行事などに生かしていきたいと思っております。

毎年、回収は5月と12月開催ですので、よろしくご協力致します。

(編集部)

## 環境委員の紹介

地区のごみ回収BOX周囲の清掃やごみの分別をやってくださる環境委員をご紹介します。

西金地 浜田 純子  
(岩村環境委員会会長)

東金地 西村 久美  
包末 多田 和美

堀ノ内 西野 洋一  
福田 田所 壮一

船渡 岡本 佐和  
蔵福寺島 友永 園子

現在、コロナ関連で南国市より立番の自粛要請中です。ごみは各自の良識で出してください

## 日章駐在所連絡協議会 (南国警察署管轄)

金地 島崎 宏明  
包末 岡林 正法  
福船・島 和田 真一  
堀ノ内 松下 充夫

## 南国警察署補導委員会 (南国警察署管轄)

岩村地区 岡崎 純男

## 南国市補導委員会 (南国市管轄)

岩村地区 和田 真一

## 県交通安全協会南国支部 岩村地区 西森 淳一

## 日赤委員の紹介

堀ノ内 今井 洋一  
(日赤岩村分区分団長)

蔵福寺島 大畠 達郎  
包末 入交 満

福船 和田 真一  
金地 田村 辰男

金地 中尾 武夫

## 南国市地域安全協会 (南国市及び南国警察署管轄)

金地 大西 正康  
福船 岡崎 純男  
堀ノ内 和田 則雄  
(敬称略)

# 岩村の歴史 ヒストリア

第13回

## 堀ノ内にあるパワースポット

### 目の神様 八坂神社のご神体は素戔嗚尊

前回、堀ノ内部落にはたくさんのお宮様があります。と寄稿しましたが、調査していくうちにいくつかの新事実が判明しましたので

紹介します。  
江戸時代の後期、1815年に発行された「南路志」(江戸時代の土佐の歴史書)によると、塞神社(さえの神様)・牛頭天王(天王様)・神母神社(おいげ様)の3社が存在した記述があります。また、明治12年調べの「南国市史」の中でもこの3社のほかに八

坂神社・神明宮(神明様)の5社の記述があります。これら歴史書から見ると、5つの神様は、江戸時代(明治の初めには存在した)になります。いずれにしても非常に古い神様と言えるでしょう。その中でも塞神社は鳥居1基と拝殿が一間(180cm)あったと(明治12年調べ)書かれています。かつては立派な大きな神社だったことがわかります。

また、現在、場所が不明の八坂神社は小字東地天皇(南国市史より原文のまま)に鎮座と書かれています。どうやら現在の小字・東

天王にある「目の神様」がこれに当たると考えて間違いないようです。圃場整備前に目の神様と天王様の地主だった大町剛士さんも、2つの小宮様は近くに並んであったと語ってくれました。しかも神体は素戔嗚尊と書いてあります。

もともとは神話の世界にはなりません。日本の国の万象はイザナギ(男神)とイザナミ(女神)によつて生みだされました。イザナギが左目を洗った時に生まれたのがアマテラス(天照大神)であり、

右目を洗った時に生まれたのが、ツクヨミ(月読命)であり、鼻を洗った時に生まれたのがスサノオ(素戔嗚尊)です。この3人は姉兄弟になります。スサノオはあの「ヤマタノオロチ」を退治した英雄なのです。

スサノオを祭った有名な神社は京都の八坂神社や出雲の須佐神社があります。スサノオがヤマタノオロチを退治するために作った奇策やタシナダヒメを奥さんにもらった条件などが、今日これらの神社が「パワースポット」として人気があるのです。

堀ノ内の八坂神社が、長い歴史の中で「目の神様」として尊願されて今日に至ったと考えられます。まさに岩村の「パワースポット」が八坂神社(目の神様)なのです。

(寄稿者・福船 和田真一)  
参考文献  
「南路志」高知大学デジタルコレクション  
南国市史  
おいげ様はお神母と書きますが他にも伊気・稲毛の字を当てるともあります。一般的には田の水の神とされています。おいげ様の神体は陽根石が多いらしい。



天王様の隣にある八坂神社(目の神様)

南路志に記述 (1815年) 江戸時代後期	神母神社	牛頭天王	さえ神社		
南国市史に記述 明治12年	伊気神社	東天王	さえ神社	八坂神社	神明宮
現在 令和2年	あみだ様	伊気神社	東天王	八坂神社	神明様